

1-9 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること【担当：事務局学務課】

■学生の修学支援

【学生担当教員制度（医学部・保健医療学部）】

各学科・学年に学生担当教員を配置し、学生生活全般に関して指導・助言・確認等を行うことで、学生の修学をサポートする制度。

【学生グループ制（医学部）】

「学生の変化や悩みの早期発見と親身な対応」、「将来の方向性や疑問に対するアドバイス」、「学生からの意見や要望の汲み上げ」を目的として実施している。

第1～6学年の全ての学年の学生で構成された11～12名のグループを編成し、1つのグループを主・副2名のアドバイザー教員が担当している。年1回（5月頃）、グループ毎に「キックオフミーティング」を開催しており、4年生が中心となって面談内容を企画し、学生とアドバイザー教員が集まって面談を行っている。

【学生支援に関する調査（保健医療学部）】

学生の生活状況を把握し、学生支援体制等を検証するための基礎資料とすることを目的として「学生支援に関する調査」を実施している。調査結果に基づき、学生の実態等に合った学生支援の充実に取り組んでいる。

【学生支援会議の開催】

学生委員会委員及び学生担当教員が、学生の要望等を集約し、学習環境の充実に向け学生とともに検討する「学生支援会議」を平成26年度から開催している（学生からの要望により、毎年度11月に開催）。

■学生生活の支援

・大学の近くに学生寮を設置している。（学生便覧28ページに記載。）

・授業料減免制度、札幌医科大学小野和子奨学金、日本学生支援機構奨学金等の制度がある。（学生便覧33～37ページに記載。）

・学生生活及び実習中の事故や怪我、感染事故等の治療費や、損害補償責任を負った場合の補償等に対応する保険・補償制度へ加入している。（学生便覧41、42ページに記載。）

・「学生支援ハンドブック」にて、各種学生支援制度や相談窓口、学生生活の注意点等を周知している。

■進路選択に関する支援

【医学部】

医学部及びアドミッションセンター、学生部、医療人育成センターの教員が一体となって、「特別枠」「北海道医療枠」入学者をはじめ、全ての医学部学生のキャリア形成支援のために「医学部学生キャリア形成支援委員会」を設置している。委員会においては、入試枠別オリエンテーションの他、道内各地域で活躍中の卒業生による後援会の開催、冊子「札幌医科大学：北海道の医療を担う医師育成プログラム」の発行、「特別枠」学生のための北海道との調整等、学生のキャリアプランに関わる様々な情報発信とサポートを実施している。

【保健医療学部】

少人数制を生かし、学部教員全員が進路相談に当たり、きめ細やかな支援を行っている。求人情報を綴りにまとめエントランススペースで閲覧に供しており、特に道内求人情報については、求人先、求人数などを掲示している。

■心身の健康に関する支援

学生の健康管理に関する業務を専門的に担当する保健管理センターに、保健室及び健康相談室を設置し、保健師、看護師及びカウンセラーを配置している。（学生便覧39、40ページに記載。）

■留学生に関する支援

留学生に対し、日本人学生と同様に授業料減免制度がある。特別に実施している制度は無い。（学生便覧33ページに記載。）

■障がい者に関する支援

【身体の障害を有する学生に関する委員会】

身体の障害を有する者の修学上の配慮について検討する委員会を設置している。